

イントロダクション

コンパクト前立腺検査トレーナーでは直腸指診 (DRE) による前立腺検査の練習が行えます。内周部には状態の異なる4つの前立腺を再現し、外周部には各前立腺の様子を表す超音波画像が明示されています。感触と画像を交互に確認しながら練習できるので、非常に効率的に触診の技術を高めることができます。



図1: コンパクト前立腺検査トレーナー

機能

このコンパクト前立腺検査トレーナーは直腸指診 (DRE) による前立腺検査の学習・技術向上を目的として作られています。人差し指を直腸に挿入し、前立腺がんの好発部位である前立腺の辺縁域を探ります。前立腺の形状、位置、硬さを評価し、正常な前立腺とは異なる不規則な凹凸、硬化、腫れを確認します。このシミュレーターは状態の異なる4つの前立腺とそれぞれの状態を示す経直腸的前立腺超音波 (TRUS) の画像を備えています。

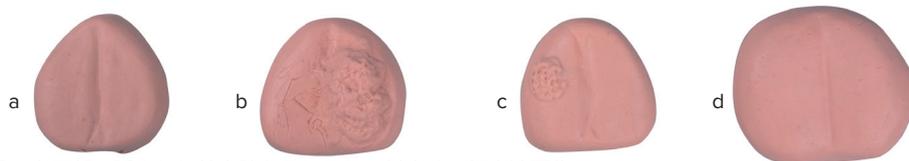
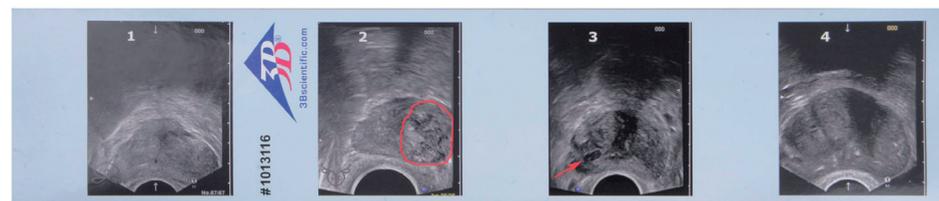


図2: 内周部に隠された前立腺とそれぞれに対応する超音波画像

1. 正常な前立腺 (図2a):

正常な前立腺はクルミ程度の大きさで、輪郭ははっきりしており表面は平坦。中央の浅い溝により2つに区切られているのが触知できます。ゴムのような弾力性があります。対応画像は1。

3. 前立腺がん初期 (図2c):

小さな凹凸が触知できます。輪郭ははっきりしており大きさも正常です。対応画像は3。

2. 進行性前立腺がん (図2b):

前立腺は硬化し、腫れています。表面には大きな凹凸があり、輪郭は不明瞭です。対応画像は2。

4. 前立腺肥大-BPH (図2d):

前立腺が肥大しており、弾力性があります。輪郭ははっきりしており、形状は左右対称です。対応画像は4。



NOTE:

超音波画像はそれぞれが対応する前立腺の裏となる位置に貼られています。正しいポジションで前立腺にアクセスすると (図3: 側臥位と前かがみ), 検査者から画像は見えなくなるので、触診による診断後に画像と照らし合わせるなど効果的な練習が行えます。また画像は、それぞれが対応する前立腺とは上下が逆に貼られていることに注意してください。

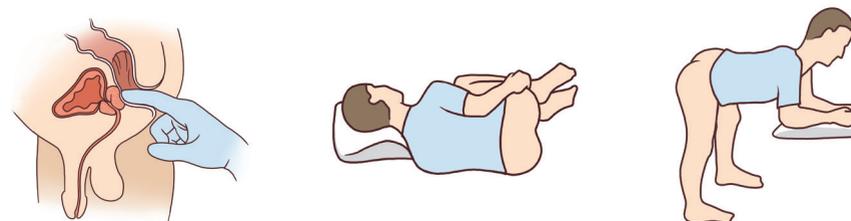


図3: 触診時の姿勢

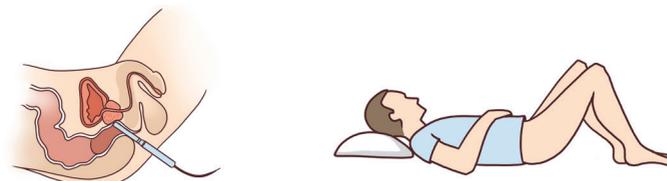


図4: 超音波撮影 (TRUS) 時の姿勢

お手入れ

シミュレーター表面の汚れは湿らせた布でふき取り、完全に乾かしてから保管してください。



NOTE:

溶剤を含む洗剤は表面を傷めるため使用しないでください。またラベルを貼ったりインクによる書き込みを行うと消えなくなる恐れがありますのでお止めください。

技術データ

寸法: 高 9.5 x 直径 9.5 cm
重量: 本体約0.13kg, 梱包時約0.28kg

管理温度

使用温度 -10 °C ~ +40 °C
保管温度 -20 °C ~ +60 °C